

今日の焦点

CATV 業界大手のジュピターテレコムを巡る動きと CATV 業界の現状

本年1月25日に、KDDIは米メディア大手のリバティグローバル (LG) から、CATV大手ジュピターテレコム (JCOM) の全保有株を計3,617億円で買収すると発表した。LGは1995年1月に住友商事とともにJCOMを設立したが、その時点で、2010年2月18日までに合併を見直すことを決めていた。このためLGはこの時期に、KDDIが株価に65%上乗せして全株を買収するという提案を受け入れ、売却して日本から撤退することを決定した。

ところが、KDDIが全株を買収すると37.8%となり、3分の1を超えてしまう。金融商品取引法では、「上場企業の3分の1超の株式を10人以内から取得するときはTOB (株式公開買い付け) を実施しなければならない」と規定されており、KDDIは金融庁からこれに抵触するとの指摘を受けた。KDDIは資産管理会社3社からの購入であり、合法と解釈していたが、金融庁の指摘を受け入れ、2月19日に出資比率を31.3%に引き下げることが決定し、2月19日に購入した。

LGの行動に驚いたのは、もう一方のJCOMの出資者である住友商事である。2月15日に住商はJCOM株の40%を上限とするTOBを実施することを発表し、KDDIを上回るJCOMの筆頭株主となることを明らかにした。住商は4月15日にTOBが成立したことを発表し、自己の所有株に上乗せして約1,200億円を投じ、40.2%の株を保有することになった。

以上のように、3カ月にわたって、JCOMはKDDIと住商による主導権争いに振り回されたわけであるが、もともと2社がJCOMの株主になる狙いは違っ

た。住商は当初からの株主としてJCOMをこれまでに育て上げた自負があり、自社グループが持つコンテンツの活用場として小売事業などの展開を目指している。一方、KDDIはJCOMの持つネットワークを活用して、ブロードバンド市場においてNTTに対抗できる立場を確保したいとの狙いがある。KDDIは傘下にCATV2位のジャパンケーブルネット (JCN) を有しており、有料放送サービスの加入者世帯はJCNが約77万とJCOMの約260万を合わせると、国内市場のほぼ5割のシェアを確保することとなる。なお、NTTのグループ会社の提供による「ひかりTV」の加入者はこの3月末に100万を突破しており、今後ますます両陣営の競争が激しくなる。

4月22日には、住商とKDDIの社長が提携に向けた初の協議を行い、両株主ともJCOMの企業価値向上で協力することを発表した。今後はJCOMとの3者で連携を密にし、通信、放送の分野でいかにシナジー効果をあげるかが課題となる。

さて、わが国のCATV業界の現状はどうなっているのだろうか。本年4月に総務省は、「ケーブルテレビの現状」という報告書を公表したが、それによれば平成21年12月末におけるCATVの普及状況 (自主放送を行う許可施設) は、2,427万世帯で、対前年増加率は5.4%であり、わが国の全世帯数に対する普及率は45.9%となっている。5年前の平成17年度の加入世帯数は1,913万、普及率は38.0%であったから、この5年間で26.8%の増加となっており、順調に伸びているといえる。また、21年度末にお

ける認可された施設数、事業者数は、それぞれ686施設、538事業者となっており、この数字は5年間微増であるが、これは全国ほとんどの地域がサービス可能区域となっていることを示している。経営状況も順調に改善してきており、平成20年度末に調査対象とした307事業者のうち253社が単年度黒字となっている。なお、JCOMについて見ると、2009年12月期の売上高は前期比13%増の3,387億円、営業利益は前期比14%増の620億円と7期連続で最高益を更新している。

また、CATVの幹線光化率も、平成20年度末において10万8千キロと全体の46%まで拡大してきている。独自のアクセス網を所有して、現実には有線テレビ放送サービスを行っているCATV企業は、NTTに対抗でき得る資格を備えており、今回の住商、KDDI、JCOMの三者連携のようなケースが今後も起きる可能性はある。

CATV事業者の業界団体である日本ケーブルテレビ連盟は5月7日に、総務省で検討が進むNTT光アクセス部門の分離に反対する意見を公表した。自らのリスクでケーブル網の敷設に投資してきたCATV事業者にとって、昔の電電会社のような、国丸抱えの光アクセス独占会社が設立されれば、CATV事業者が受ける打撃は計りしれない。

NTT及びそれ以外の通信会社、そしてCATV事業者などが、資本主義社会のもと、健全な市場競争原理で、利用者へのサービス競争に徹することを切に希望したい。